

授業科目名	母性看護学	担当教員	◎久保幸代、恵美須文枝 下睦子、岩谷香
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

【授業概要】

妊娠中から出産退院後、地域で生活する母児とその家族に対して、母児の健康管理や出産・育児準備に必要な支援を学ぶ。

【授業目的・目標】

1. 妊娠中の母児の健康管理に必要なエビデンスに基づく看護援助について考えることができる。
2. 快適で安全な出産・育児に向けた準備行動に対して、どのような支援が必要か検討し、具体的支援について考えることができる。
3. 出産退院後の地域での生活で、母児の健康管理や育児における課題を探り、どのような支援が必要か考えることができる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|---|---------------|
| [01] 妊娠中から育児期までの健康課題 | (久保) |
| [02] 妊娠中から育児期までの健康課題 | (久保) |
| [03] 快適で安全な妊娠・出産・育児のためのエビデンスに基づく看護援助 | (久保) |
| [04] 快適で安全な妊娠・出産・育児のためのエビデンスに基づく看護援助 | (久保) |
| [05] 妊娠中から出産後地域で生活する母児とその家族への看護援助(演習 1) | (久保・恵美須・下・岩谷) |
| [06] 妊娠中から出産後地域で生活する母児とその家族への看護援助(演習 2) | (久保・恵美須・下・岩谷) |
| [07] 妊娠中から出産後地域で生活する母児とその家族への看護援助(演習 3) | (久保・恵美須・下・岩谷) |
| [08] 妊娠中から出産後地域で生活する母児とその家族への看護援助(演習 4) | (久保・恵美須・下・岩谷) |

【教科書】

指定なし

【参考書】

指定なし

【評価方法・評価基準】

課題レポートの提出：50%、授業やクラスへの貢献度：20%、プレゼンテーション：30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された事前課題の学習を行うこと。

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習、課題の記述を行うこと。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは記述内容を評価し、返却する。

【備考】

ウィメンズヘルス看護学概論、周産期看護援助論、ウィメンズヘルス看護学臨地実習、母性看護学臨地実習と関連が深い。特に、この後に続く母性看護学臨地実習に向け、関心のある妊娠中から育児期までの健康課題と必要な支援について調べ明確にしておく。